

受験番号	
------	--

平成31年度大阪府・大阪市・堺市・豊能地区公立学校教員採用選考テスト

中学校 美術 解答用紙 (3枚のうち1)

3

得点	
----	--

(1)	岡本 太郎	/	
(2)	(作品A) 太陽の塔	/	
	(作品B) 明日の神話	/	
(3)	(作品A) ア	(作品C) オ	/
(4)	この作品は、冷戦中に制作されたもの。画面中央に象徴的に表されているのは、原爆で炸裂する人体。画面右下には、1954年にビキニ環礁の水爆実験に巻き込まれ被爆したマグロ漁船「第五福竜丸」、画面左には平和な世界で憩う人々の姿が描かれている。岡本太郎は、いつ原爆がさくれつしてもおかしくなかった当時の人類の状況を画面中央に描き、そこに至った人類の過去の罪業と、それを乗り越えて未来へと生き抜く人類のたくましさへの期待を描いた。		/
(5)	(作者名) パブロ・ピカソ(ピカソ)	/	
	(作品名) ゲルニカ	/	
(6)	(名称) キュビズム	/	
	(内容) 対象を複数の角度から幾何学的に分解し、再構成する技法を創出した美術運動。	/	
(7)	1937年、スペインの内戦のおりに、小さな村ゲルニカが、ナチス・ドイツ空軍の無差別爆撃を受けて、女、子どもも含む多くの犠牲者をだした。これを聞いたピカソは、急きょ、万国博覧会のための作品を、戦争の悲惨さを人々に訴えるための作品として、わずか1か月あまりで描きかえた。これは、ピカソの絵筆による激しい抗議である。		/

--

受験番号	
------	--

平成31年度大阪府・大阪市・堺市・豊能地区公立学校教員採用選考テスト

## 中学校 美術 解答用紙 ( 3枚のうち2 )

4	得点	
---	----	--

( 1 )

題材名 絵画 「ありえない世界」	
題材の目標	「ありえない世界」を表現することに関心を持ち、自己の内面を深く見つめて考えたことや造形的な効果を生かし創造的に表現するとともに、他者の作品から作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取り味わう。
	/

( 2 )

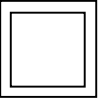
題材の 評価規 準	観点	美術への関心・意欲・態度	/
	表現	「ありえない世界」というテーマを基に、自己の内面を表現することに関心を持ち、主体的に心豊かな表現の構想を練ったり材料や用具の特性を生かしたりしようとしている。	
	鑑賞	他者の作品に関心を持ち、主体的に見方や理解を深めようとしている	/
	観点	発想や構想の能力	/
		「ありえない世界」というテーマを基に、感性や想像力を働かせて、自己の内面を深く見つめ感じ取ったこと、考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に、主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組合せなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かな表現の構想を練っている。	/
	観点	創造的な技能	/
		感性や造形感覚などを働かせて、材料や用具の特性を生かし、自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫したり、制作の順序などを総合的に考え見通しをもったりしながら、創造的に表現している。	/
	観点	鑑賞の能力	/
	感性や想像力を働かせて、造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取り味わっている。	/	

受験番号

平成31年度大阪府・大阪市・堺市・豊能地区公立学校教員採用選考テスト

中学校 美術 解答用紙 (3枚のうち3)

(3)



時	学習活動および内容	
第1時 ～2時	課題の把握と 発想・構想	<p>○「ありえない世界」を表現することを理解し、題材への関心を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・参考作品などを鑑賞し、作者の主題、意図と表現の工夫などについて意見を述べ合う。</li><li>○自己の内面を見つめ、表現する主題を生み出す。</li><li>・自己の内面を深く見つめ、発想を広げるために言葉や図などで表したり、未来の自分へ手紙を書くなどして、表現したい主題を考える。</li><li>○主題を基に構想を練る。</li><li>・主題を基にワークシート、アイデアスケッチなどにより構想をまとめる。</li></ul> <p>【例】</p> <p>○「ありえない世界」を表現することを理解し、題材への関心を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ありえない世界の一例として、マグリットの作品やダリの作品を、題名を示さず提示する。</li><li>・作品について、ワークシートに第一印象を書く。</li><li>・作品の題名について考えてみる。</li><li>・題名を紹介して、作品に対する作者の意図を示す。</li><li>○自己の内面を見つめ、表現する主題を生み出す。</li><li>・自分が考えるありえない世界について、ワークシートにまとめる。</li><li>○主題を基に構想を練る。</li><li>・ワークシートをもとに、アイデアスケッチをする。</li></ul>



(4)

<p>「努力を要する」状況と判断した生徒の具体的な状況</p> <p>題材の意図が理解できず、主題を生み出すことが困難であり、作品制作にあたっては、見通しを持った活動ができない。</p>	/	
<p>「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て</p> <p>課題の意図については個別に再度説明する機会を設け、作品例を示して視覚的にも理解しやすいようにする。また、机間巡視等をする際には、具体的な目安や段階を踏んだ指導を行うようにする。</p>		